

2021年 12月7日(火) 11:00 -14:00 於:自由学園 明日館 みょうにちかん

マングローブ、ミャンマー、気候危機 もしくは冒険的夫婦論



講師

向後紀代美 向後元彦

(東京支部会員)

向後紀代美(こうごきよみ)プロフィール

地理学者。1940年神奈川県生まれ。旧姓・深津。1963年お茶の水女子大学文教育学部地理学科卒。1975年東京大学大学院理学部地理学科博士課程中退。日本女子大、東京大学、早稲田大学、ほか12の大学院、大学、短大、放送大学、カルチャーセンターなどの非常勤講師をへて、50代で正規大学教員となる。元東北学院大学助教授。大学女性協会東京支部会員。

▶著書：『エミちゃんの世界探険』毎日新聞社/1972 共著：『粉食文化と肉食文化』日本観光文化研究所編 柴田書店シリーズ食文化の発見 世界編/1981 分担著書：『海を渡った日本のやきもの』ぎょうせい/1975、『エクアドルを知るための60章』明石書店/2006、『聖なる銀 アジアの装身具』INAX BOOKLET/2011『アラブのなりわい生態系5 サンゴ礁』臨川書店/2015 訳書：『図説大百科世界の地理15 西アジア』共訳 朝倉書店/2000、マルタ・ヴァヌチ『マングローブと人間』共訳 岩波書店/2005

向後元彦(こうごもとひこ)プロフィール

マングローブ学。1940年東京生まれ。1961年東京農大探検部を創設。1962年以来世界を旅する。ツィシマピーク・同南峰、エクタゾム 初登頂。砂漠に緑を・マングローブ植林行動計画を創設。

▶授賞：1986年中東調査会最優秀論文賞、1987年 Rolex Award for Enterprise (スイス、アラビアのマングローブ復元の試みへの評価)、1994年 日経地球環境技術賞受賞(マングローブ植林技術理論の構築への評価)、1998年 大同生命地域研究特別賞(地球規模のマングローブ研究への評価)、2019年 Worldview Climate Prize (ノルウェー、マングローブ植林のバイオニアとしての評価)。

▶著書：『一人ぼっちのヒマラヤ』ベースボール・マガジン社/1964、『緑の冒険』岩波新書/1988、『海の森・マングローブをまもる』大日本図書/1992 訳書：マルタ・ヴァヌチ『マングローブと人間』向後紀代美、鶴田幸一共訳 岩波書店/2005



エクアドル、マングローブの大木の前で。撮影：水越 武 1994年

申し込み・問い合わせ：

E-mail : jauw.tokyo@gmail.com

Tel & Fax : 045-541-2481

携帯 090-6514-8135

東京支部講演会担当 中山正子

締め切り：11月25日(木) 先着 40名

(欠席連絡は開催当日 5日前までにお願いします)

会費：3000円(軽食・茶菓代含む 当日集金)

* 重要文化財
自由学園 明日館



設計：フランク・ロイド・ライト、遠藤 新



●JR「目白駅」より徒歩7分 ●JR「池袋駅」メトロポリタン口より徒歩5分

会場：東京都豊島区西池袋 2-31-3 Tel 03-3971-7535